

# ハイパーカーテン (室内専用)



ライトグリーン0.3mmシート使用



ライトグリーン0.3mmシート使用



一般透明0.3mmシート使用

## 種類と規格



## ハイパーカーテン物性表

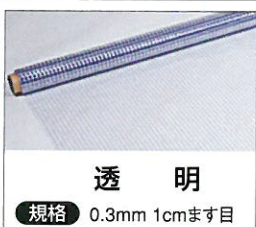
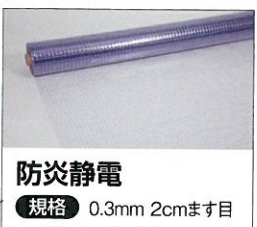
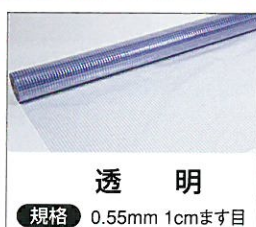
試験項目		シートの種類	ライトグリーン 0.3mm	ライトブルー 0.3mm	ライトブルー 0.5mm	防虫オレンジ 0.3mm	ブロンズ 0.3mm	透明赤味 0.3mm	備考
硬さ			87	87	88	88	85	88	JIS Cタイプ
100%モジュラス (N)	タテ		41	40	60	40	42	45	JISK 6732
	ヨコ		36	37	56	36	37	40	
引張強度 (N)	タテ		91	97	140	80	96	97	JISK 6732
	ヨコ		80	84	132	73	82	82	
伸び (%)	タテ		323	345	338	286	326	317	JISK 6732
	ヨコ		340	347	348	303	333	320	
引裂強度 (N)	タテ		27	27	40	26	27	26	JISK 6732
	ヨコ		27	26	40	25	26	26	
全光線透過率 (%)			80	89	86	70	21	90	JISK 7375
表面抵抗値 (Ω/sq)			1.7×10 <sup>10</sup>	4.1×10 <sup>10</sup>	1.1×10 <sup>10</sup>	1.5×10 <sup>10</sup>	1.4×10 <sup>10</sup>	9.8×10 <sup>10</sup>	JIS C 2170 準拠
体積抵抗値 (Ω·cm)			1.4×10 <sup>11</sup>	1.6×10 <sup>10</sup>	5.0×10 <sup>10</sup>	1.3×10 <sup>11</sup>	1.2×10 <sup>11</sup>	1.1×10 <sup>12</sup>	JIS C 2170 準拠
防炎性			適合	適合	適合	適合	適合	適合	消防法施工規則第4条の3
使用環境温度 (°C)			常温	常温	常温	常温	常温	常温	

\*注:この値は測定値であり、保障値ではありません。  
\*その他の製品の物性表は、HPでご確認願います。



ライトブルー0.3mmシート使用

防虫オレンジ0.3mmシート使用



全商品6Mまでカット販売いたします。

■ハイパーカーテン糸入り物性表

品 名	幅 (mm)	巻数 (乱M)	重量 (g/㎡)	引裂強度 (N)		引張強度 (N/3cm)		伸び率 (%)	
				たて	よこ	たて	よこ	たて	よこ
ST-6000 防災静電透明0.5mm 1cmます目	2030	30	676	56	59	445	450	21	16
ST-5000 防災静電透明0.5mm 2cmます目	2030	30	677	34	46	133	143	18	28
透明0.55mm 1cmます目	2030	30	715	85	80	445	425	21	18
透明0.55mm 2cmます目	2030	30	710	70	70	150	155	19	28
防災静電透明0.3mm 1cmます目	2030	50	400	75	70	410	410	20	15
防災静電透明0.3mm 2cmます目	2030	50	390	35	40	115	125	18	26
透明0.3mm 1cmます目	2030	50	420	65	70	415	420	19	15
透明0.3mm 2cmます目	2030	50	365	50	40	115	120	17	26
防災防虫オレンジ0.55mm 1cmます目	2030	30	735	90	85	445	450	21	17
防災防虫オレンジ0.25mm 1.5cmます目	2030	50	330	50	50	200	195	20	26
耐寒防災透明0.53mm 2cmます目	2050	30	670	186	186	196	196	18	24
耐寒防災透明0.3mm 2cmます目	2050	50	395	186	186	196	196	18	24

測定方法 JIS K 6772

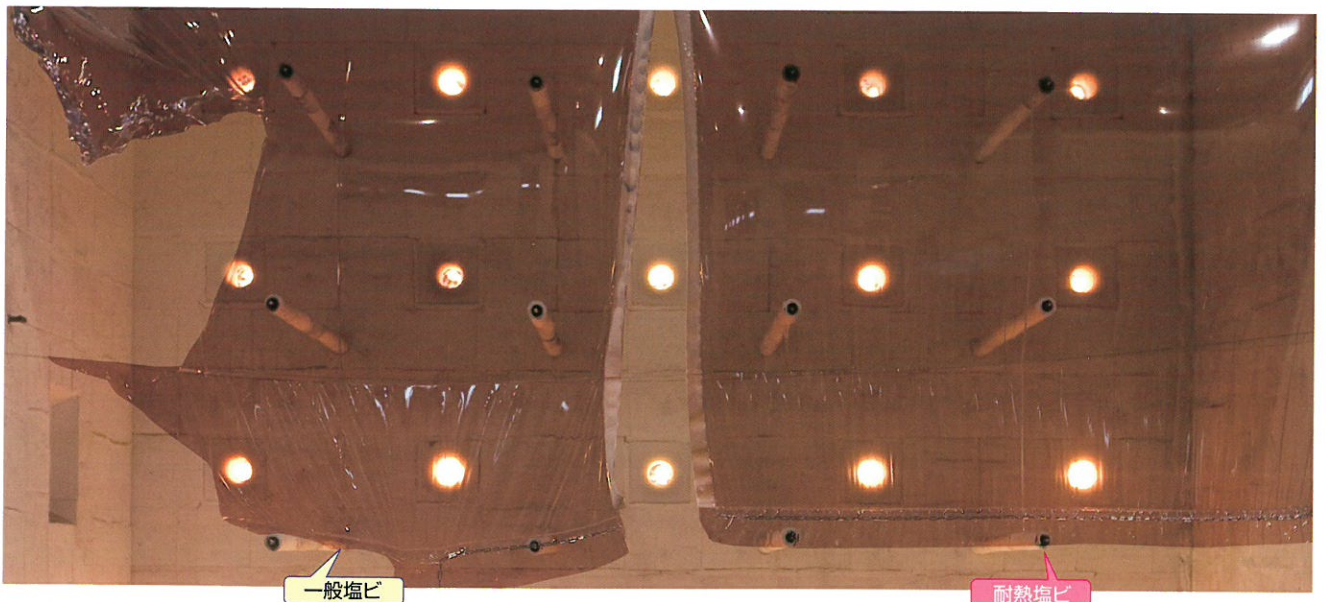
## 雰囲気温度 **120°C** 防災で透明で耐熱で差が出るカーテン

### ■特長

- 規格サイズ:0.3mm厚×1070mm幅×30M巻
- 低価格、透明で簡単に設置可能(カーテン式)
- 優れた耐熱性(120°Cの環境下においても使用は可能です)
- 環境を考慮(ノンフタル酸配合) \*RoHS 指令適合品



### ■耐熱試験



一般塩ビ

耐熱塩ビ

### ■耐熱変色試験

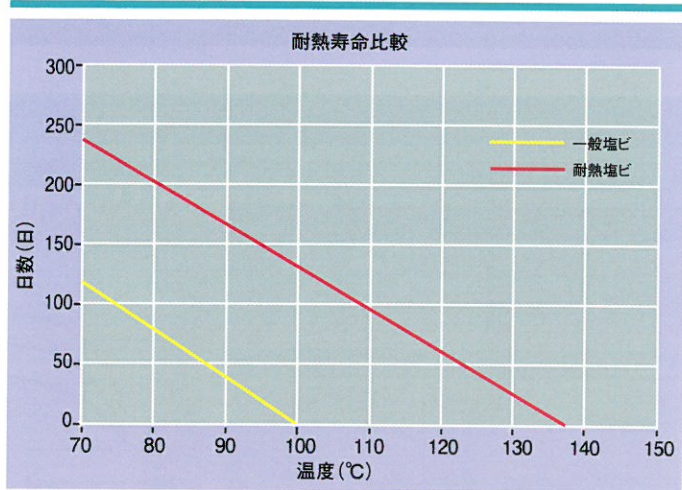
	一般透明	耐熱透明		一般透明	耐熱透明
1週間後			1週間後		
2週間後			2週間後		
3週間後			3週間後		

100°Cオープン 120°Cオープン

### ■物性表

試験項目	単位	試験方法	測定値	
厚さ	mm		0.3	
引張強さ	縦	JIS-K-6732	31.2	
	横		25.4	
伸び	縦		297	
	横		339	
100%モジュラス	縦		14.7	
	横		11.5	
引張強度	縦		26.7	
	横		24.0	
加熱変形試験	%		120°C, 1h	8.7
硬度	-		JIS(A)	82

### ■耐熱寿命比較表



\*伸びが初期値の半分(伸び率50%)まで低下する時間を耐熱寿命とする。

### ■RoHS 指令適合品

#### RoHS 指令適合証明書

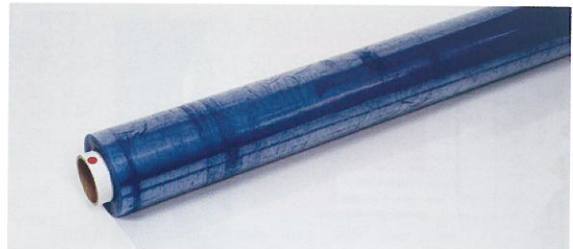
下記の製品は、改正RoHS指令【2011/65/EUおよび(EU)2015/863】により規制される特定環境負荷化学10物質が意図的添加をされていないこと、また閾値を超えて含有していないことを証明致します。

【対象製品】ハイパーカーテン耐熱

【化学物質および閾値】

No.	物質名	規制値
1	カドミウム及びその化合物	100 ppm
2	鉛及びその化合物	1,000 ppm
3	水銀及びその化合物	1,000 ppm
4	六価クロム化合物	1,000 ppm
5	ポリ臭化ビフェニル類(PBB類)	1,000 ppm
6	ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類)	1,000 ppm
7	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル(DEHP)	1,000 ppm
8	フタル酸ジ-n-ブチル(DBE)	1,000 ppm
9	フタル酸ブチルベンジル(BBP)	1,000 ppm
10	フタル酸ジイソブチル(DLBP)	1,000 ppm

■原反 0.3mm厚 × 1070mm幅 × 30M巻





スワロンの遮熱カーテンは、開け閉めできるので季節による節電対策ができます。



取付例



透明糸なしタイプ



透明糸入りタイプ

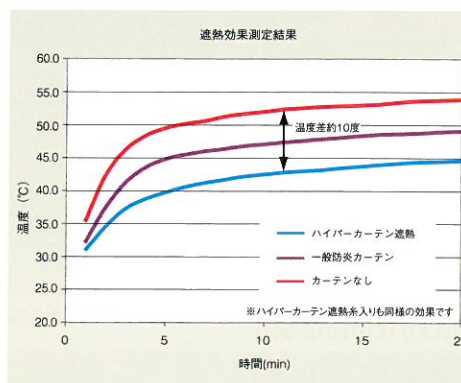
## 遮熱カーテン効果測定試験

・一般防災カーテン0.3mm  
・ハイパーカーテン遮熱0.3mm

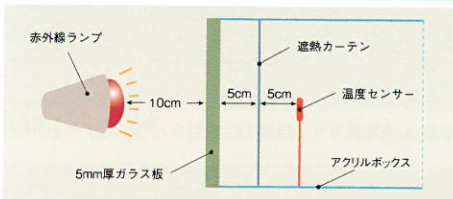
■試験結果 試験条件: 下図の測定装置にて、赤外線ランプを照射した際の遮熱カーテン有無による温度変化を20分間測定

照射時間 (min)	カーテンなし	一般防災カーテン	ハイパーカーテン遮熱	ハイパーカーテン糸入り遮熱	一般遮熱フィルム
1	35.1	31.9	30.7	30.7	33.8
5	49.3	44.6	39.9	39.5	45.4
10	51.8	46.9	42.8	42.3	47.7
15	52.8	48.2	44.0	43.5	48.4
20	53.7	48.9	45.0	44.4	49.2

単位(℃)



### 試験条件



### ハイパーカーテン防災遮熱(透明) 物性表

透明 (0.3mm)	引張強さ(N)	伸び(%)	引裂強さ(N)	防炎性	備考			
タテ	96	76	307	ヨコ	25	24	適合 (消防法)	JIS K 6732 に準ずる

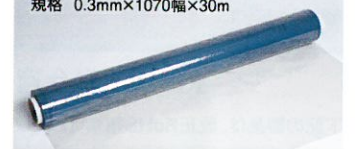
### ハイパーカーテン防災遮熱(糸入り) 物性表

糸入り (0.3mm)	引張強さ(N)	伸び(%)	引裂強さ(N)	防炎性	備考				
タテ	111	131	23	ヨコ	31	47	39	適合 (消防法)	JIS K 6772 に準ずる

※この値は測定値であり、標準値ではありません。  
※製品仕様は予告なく変更することがあります。

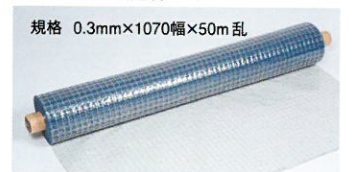
### 防災遮熱透明シート

規格 0.3mm×1070幅×30m

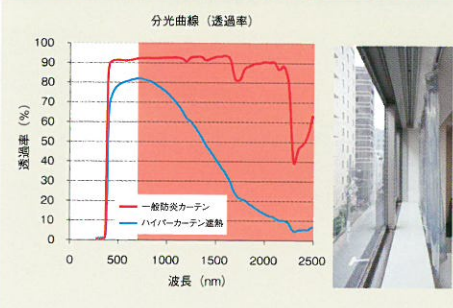


### 糸入り防災遮熱透明シート

規格 0.3mm×1070幅×50m 乱

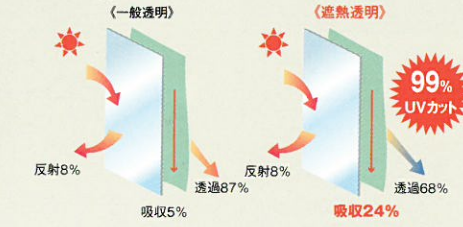


### 遮熱効果測定機による時間経過と分光曲線 (透過率)



	日射反射率	吸収率	日射透過率	UVカット率
一般透明	8%	5%	87%	-
遮熱透明	8%	24%	68%	99%

JIS-A-5759に準ずる





白色(半透明)



※他に不燃透明もございます。

### ■物性表 (白色半透明)

製品	厚み (mm)	幅 (cm)	巻数 (乱 m)	重量 (g/m <sup>2</sup> )	引張強度 (N/3cm)		伸び (%)		引裂強度 (N)		透光率 (%)	防災番号	不燃認定番号 (国土交通大臣認定)
					タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ			
	0.27	203	30	370	1070	1040	3	3	25	35	55	B150028 F27105	NM-4049-1 (膜材は取得していません)
試験方法	ダイヤルゲージ				JIS K 6772						JIS K7361-1	1. 発熱性試験 2. ガス有害性試験	

材質：PVC  
基材：ガラスクロス

- 注意事項：
1. 熱溶着による接合加工時に臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
  2. 高周波ウェルダで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起すことがありますので、ウェルダカバーおよびシートの溶着部分に付着物のない状態で溶着してください。
  3. 縫込みロープ・ハトメ部分の縫合時には、必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
  4. 加工作業時、ガラス繊維が皮膚に付着して不快感が生じる事がありますので、長袖の着用・手袋の使用等防対策を行って作業してください。
  5. 長時間保管する場合は、高温多湿を避け、気温の変化の少ない場所を選び、変形するような積み重ね、立て掛けはしないでください。
  6. 基布には吸水防止処置はしておりません。
  7. 廃棄される場合は、廃棄物処理法、各自治体条例に従い、許可の受けた産廃処理業者に処理を委託してください。



認定書



白色(半透明)

## ちょっと豆知識

### 難燃と防災の違い

「難燃」は、もともと燃えにくい(自己消火性が高い)素材で作られたものを示し、「防災」は、それ自体燃えやすいものに難燃剤を混ぜたり、表面を加工したりして、自己消火性を高めているものを示しております。

防災とは、「燃えにくい」という性能を示す用語です。

仮に着火しても自己消火性があり、際限なく燃え広がらないことを意味します。

同じ意味で「難燃」も用いられます。

また、防災品には、消防法で規制されている『防災製品』と、消費者の立場に立って防災製品認定委員会が防災性能等を認定した『防災製品』があります。

昭和44年から消防法に位置付けられた「防災製品」では、不特定多数の人が出入りする施設・建築物や高層建築物、地下街等の防災防火対象物で使用されるカーテンやじゅうたん等は防災性能を持つ防災物品の使用が義務づけられており、それらには「防災」の表示を付けることになっております。

「防災」は、消防法に基づく用語

「難燃」は、建築基準法の基づく用語(不燃・準不燃も同様)

防災性能の測定に関する技術上の基準—消防法施工規則 第四条3—4

難燃材料についての定義—建築基準法施工令 第一条6



## 注意事項

- ・印刷の都合により製品の色味が実際の物と異なる場合がございます。
- ・製品改良のため、仕様は予告無しに変更する場合がございます。
- ・本カタログ中に掲載した物性値等のデータは実測値であり、保証値ではありません。
- ・プラスチック製品は当該自治体等により定められた方法により廃棄してください。
- ・軟質塩化ビニールには、可塑剤の移行により接触している製品を汚染する場合がございます。適合可否をご確認の上、状況に応じてお早めに交換してください。
- ・軟質塩化ビニールは、紫外線・温度変化・雰囲気中の溶剤等の化学物質、オゾンなどにより経時変化が促進されることがあります。状況に応じて早めの交換をお勧めします。
- ・軟質塩化ビニール一般には、耐熱性はありません。環境温度が60℃以上になる場所では使用しないでください。
- ・牛乳及び紙パックや米などは、におい成分を吸着する性質があるため、製造ラインや保管場所でご使用される際は、施工・販売店までお問い合わせ下さい。



## ムシキ〜ヒン。注意事項

- ・表面に汚れ、ホコリが付着したままでの使用は避けてください。
- ・表面が汚れた際は、傷つけないように拭き上げてください。
- ・皮膚に貼るなど、用途以外で使用しないでください。
- ・虫の種類や個体差により効果には差があります。
- ・環境により効果期間に差が出ることがあります。
- ・保管は高温・多湿の場所は避けてください。効果期間を短縮する場合があります。
- ・本カタログ中に掲載した物性値等のデータは実測値であり、保証値ではありません。
- ・プラスチック製品は当該自治体等により定められた方法により廃棄してください。
- ・軟質塩化ビニールには、可塑剤の移行により接触している製品を汚染する場合がございます。適合可否をご確認の上状況に応じてお早めに交換してください。
- ・軟質塩化ビニールは、紫外線・温度変化・雰囲気中の溶剤等の化学物質、オゾンなどにより経時変化が促進されることがあります。状況に応じて早めの交換をお勧めします。
- ・一般的に軟質塩化ビニール、耐熱性はありません。環境温度が60℃以上になる場所では使用しないでください。
- ・室内のみでの使用をお願いします。
- ・各種アレルギー症状を起こしやすい方は、手袋をするなど対策の上、ご使用ください。



## 警告

- ・施工・取付の際は、重量に耐えきれない下地材への取り付けはお止め下さい。製品の総重量を代理店に確認し、重量に耐え得る下地材へ取り付けして下さい。
- ・車両やフォークリフト通過時、チェーンやタイヤに巻き込む可能性がございます。通過時は最徐行して下さい。
- ・傷や油などの汚れで、透明性が悪くなり向こう側が見えにくくなりましたら、新しいシートに取り替えて下さい。
- ・フォークリフトや人が通ったあとのシート跳ね返りでシートが顔などにあたり、ケガなどする恐れがあります。フォークリフトや人が通ったあとは通らないで下さい。

## SW スワロン株式会社

本社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-8 岩本町シティプラザビル3F  
TEL (03) 5829-5755 (代表) FAX (03) 5829-5756

大阪営業所 〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-2-15 モレスコ本町ビル6F  
TEL (06) 6260-1251 (代表) FAX (06) 6260-1253

工場 〒720-0802 広島県福山市松浜町2-2-11

配送センター 〒254-0002 神奈川県平塚市大神2120-3 TEL 0463-53-3650  
<http://www.swallon.co.jp>

取扱店